

江戸川区 中小企業の景況

令和3年4月～令和3年6月期

調査対象 製造業 157社 小売業 71社
サービス業 52社 建設業 47社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株)サーベイリサーチセンター

本概要版は、令和3年6月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(令和3年7～9月期)をまとめたものです。
なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

※ D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
	好調 ←			普通		→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

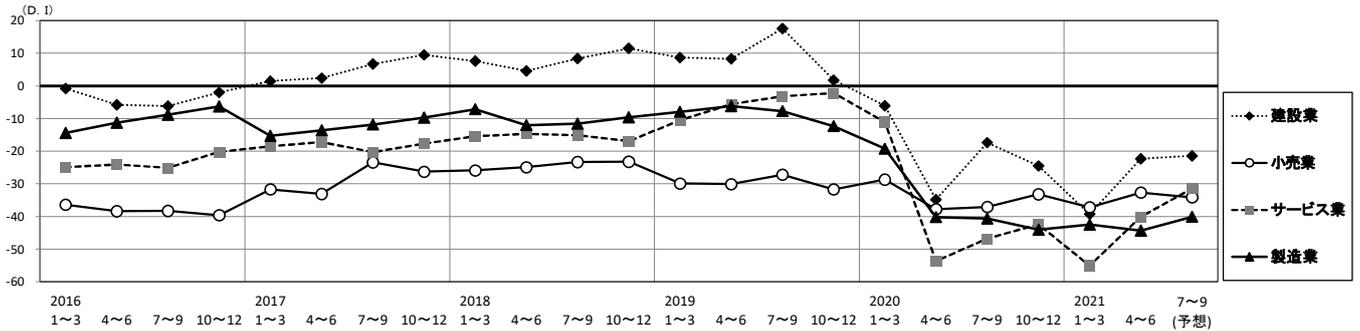
製造業	前期		-42.5	業況DI(Δ42.5→Δ44.3)は前期比1.8ポイント減少し、前期同様の厳しさが続きました。売上額(Δ45.7→Δ32.9)と収益(Δ44.1→Δ32.4)はともに減少・減益傾向が大幅に改善されました。 来期の業況(Δ40.1)は悪化傾向が多少弱まると見えています。売上額(Δ26.5)と収益(Δ25.0)は減少・減益傾向が今期同様に大幅に改善すると予想しています。
	今期		-44.3	
	来期		-40.1	

小売業	前期		-37.2	業況DI(Δ37.2→Δ32.7)は悪化傾向がやや弱まりました。売上額(Δ43.6→Δ33.9)と収益(Δ42.7→Δ32.0)も減少・減益傾向がかなり弱まりました。 来期の業況(Δ34.1)は今期並の厳しさが続くとは予想しています。売上額(Δ32.2)と収益(Δ31.9)も今期同様の厳しい状況が続くと予想しています。
	今期		-32.7	
	来期		-34.1	

サービス業	前期		-55.1	業況DI(Δ55.1→Δ40.1)は厳しい状況は続くものの悪化傾向が大幅に弱まりました。売上額(Δ51.3→Δ38.7)と収益(Δ50.7→Δ33.9)も減少・減益幅が大幅に縮小しました。 来期の業況(Δ31.4)は悪化傾向が大幅に改善すると見ており、売上額(Δ25.2)と収益(Δ23.8)も減少・減益幅が大きく縮小すると予想しています。
	今期		-40.1	
	来期		-31.4	

建設業	前期		-39.3	業況DI(Δ39.3→Δ22.3)は悪化傾向が大幅に弱まりました。売上額(Δ38.7→Δ30.0)は減少幅が大幅に縮小し、収益(Δ40.2→Δ37.8)も減益傾向がやや弱まりました。 来期の業況(Δ21.4)は今期同様の悪化水準が続くと見ており、売上額(Δ22.7)と収益(Δ25.4)はともに減少・減益傾向が大幅に改善すると予想しています。
	今期		-22.3	
	来期		-21.4	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



【過去5年間の業況D.I.の推移】 ※(D.I.=「増加回答値」-「減少回答値」)

	2016				2017				2018				2019				2020				2021		
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9 (予想)
製造業	-14.4	-11.3	-8.8	-6.3	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-44.0	-42.5	-44.3	-40.1
小売業	-36.4	-38.4	-38.3	-39.6	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-33.2	-37.2	-32.7	-34.1
サービス業	-24.9	-24.1	-25.1	-20.2	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-42.4	-55.1	-40.1	-31.4
建設業	-0.8	-5.8	-6.2	-2.0	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-24.5	-39.3	-22.3	-21.4

経営者から寄せられた声 (2021年4~6月)

【景況全般について】

- 建設コンサルタント業界だが、オリンピックの影響も重なって、これから数年間は公共事業の削減傾向は続くと考えている。ただし、災害については対策の必要性は高まっているため、事業の主体を老朽化、長寿命化の調査計画から災害系にシフトするよう努めている。(サービス業)
- コロナ禍においてアフター5を中心とする営業は厳しい状況にある。テレワークができない事業に対する救済があると助かる。しかしWebを利用した何らかのサービス対策が必要のため、リサーチして関連あるものを取り入れて行くつもりだ。(サービス業)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- 建築関係は、リフォーム関係の依頼が例年以上に多く、その対応に忙しくて特に新しい取組みはしていない。不動産関係は、コロナ発生当初から比べると安定してきているように感じられる。(建設業)
- 鋼材価格高騰などにより売り上げは減少している。(製造業)

【経営上の課題について】

- 新型コロナウイルス感染拡大により営業活動が大幅に制約。感染拡大防止に尽力している。(建設業)
- 新型コロナに怯えながら仕事に向かっている。今のところ当社は昨年と同じだが、何時現場がコロナ問題で止まるか心配の毎日。ワクチン接種が最も早く希望者に接種出来たらと思う。(建設業)

【経営改善等に向けての取組み】

- 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、BCP対策に取り組んだり、従業員のメンタル面の対策等を行っている。業界の動向はまだまだコロナ禍の影響があり、なかなか厳しいと思う。とにかく政府の対応が遅すぎる。(製造業)
- 感染症対策を徹底する。(小売業)
- 時短営業にて体力の減退を抑制するよう努めている。(サービス業)

江戸川区の企業倒産動向 (2021年4~6月)

江戸川区の企業倒産動向

2021年4~6月期の江戸川区の倒産件数は、前期比7.7%増の14件(前期13件)、負債総額は前期比35.2%増の6億3百万円(前期4億99百万円)でした。

業種別にみると、件数では“建設業”が6件で最も多く、次いで“サービス業”が3件と続いた。負債総額は“宿泊業、飲食サービス業”が2億円で最も多く、次いで“建設業”(1億84百万円)、“サービス業”(1億46百万円)でした。

	(単位: 件・百万円)					
	前年同期 2020年4~6月		前期 2021年1~3月		今期 2021年4~6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	200	0	0	0	0
卸売業	1	20	3	70	1	23
小売業	1	1,281	2	49	1	10
サービス業	1	10	1	20	3	146
建設業	1	37	4	210	6	184
不動産業	0	0	1	20	0	0
情報通信業・運輸業	1	10	1	10	1	30
宿泊業、飲食サービス業	0	0	1	120	1	200
その他	1	10	0	0	1	10
合計	7	1,568	13	499	14	603

江戸川区 産業経済部 産業経済課 計画係

TEL: 03-5662-9014 (直通)